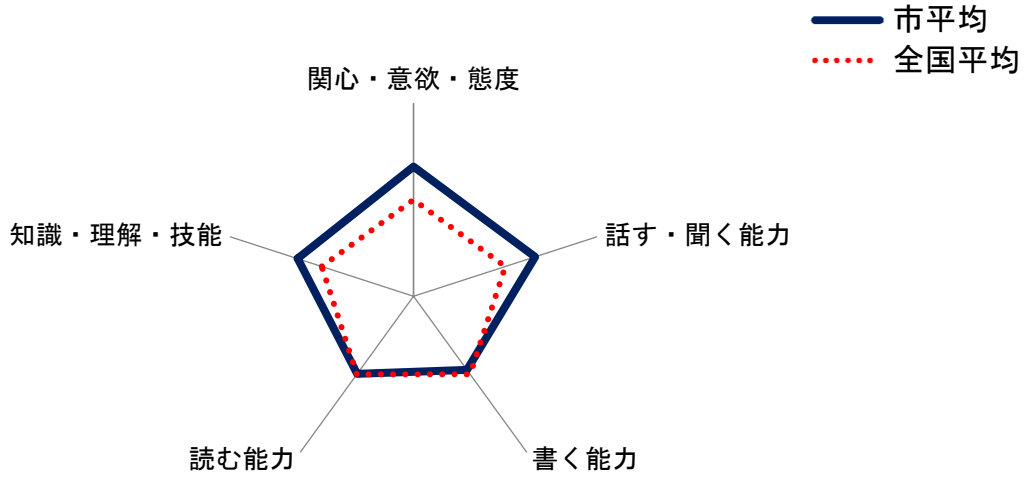
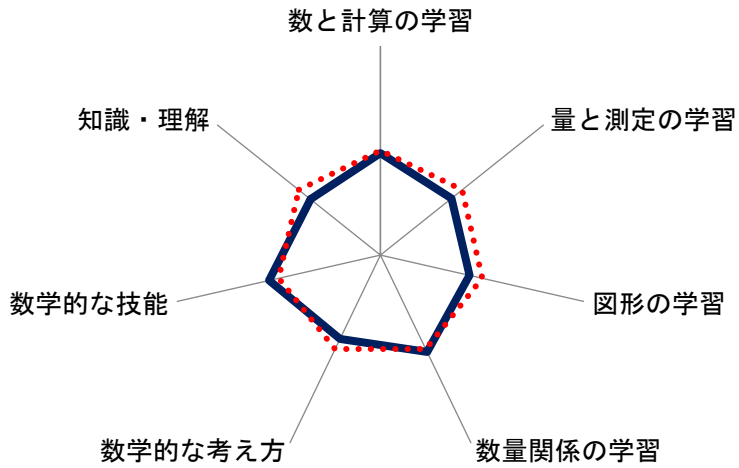


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】



【算数】

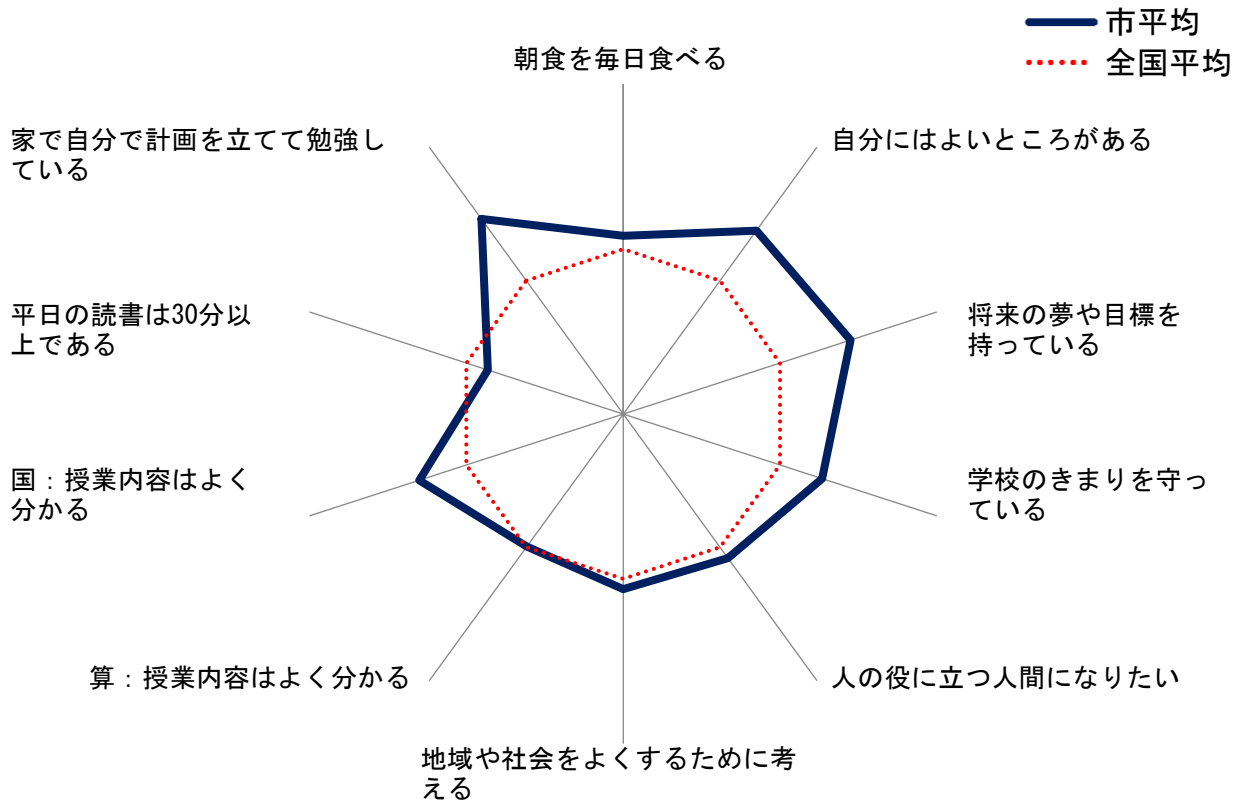


小学校

令和元年度 全国学力・学習状況調査  
(学習や生活の状況) 結果

西予市

○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は多くの項目が全国平均を大きく上回っているものの、算数はほとんどの項目が全国平均を下回っており、今後、設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すことにより、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」、「家で自分で計画を立てて勉強している」の各項目が全国平均を大きく上回っており、自尊感情や主体的な学習の定着が高い傾向がある。「平日の読書は30分以上である」の項目は昨年度に比べて改善が見られるものの、依然全国平均を下回っており、引き続き課題であると言える。今後も、みきゃん通帳の活用方法を検討するなど、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。